

生演奏に限りなく近い自然な音を再生する「GARA Surround」

株式会社カギオカ（奈良県磯城郡田原本町）

総合商社の株式会社カギオカ（代表取締役社長 鍵岡璋典）では、生演奏に限りなく近い自然な音を再生するスピーカーシステム「GARA Surround」17（フルレンジモード（ミッドバス+ツイータ）密閉防磁型）及び同 10（無指向性、フルレンジ・ダブル駆動スピーカーシステム）を製造・販売している。

同社は、平成 10 年、今村音響研究所と共に同製品の開発を開始。故人となられた今村氏が考案したスピーカーを同社が支援し、製品化にこぎつけた。同製品は、金属の削り出しから木材加工、紙製品の加工及び塗装に至るまで、全て地元企業（9 事業所）に外注し、熟達した技術者によって一品一品丁寧に組み上げた手づくり工芸品である。

■「GARA Surround」の特徴・機能

●フルレンジスピーカーシステム

従来のマルチウェイスピーカーシステムのように楽音の途中で音をクロスさせないため、位相（*）のズレがなく、生演奏そのものの自然な音を再生する画期的な特許取得商品である。

*波動等の周期的現象において、ある時刻・ある場所で、振動の過程がどの段階にあるかを示す変数。

一方向に一定の角度で音を発する従来型スピーカーは、スピーカー以外からの音漏れにより濁った音が出る。これに対し Gara Surround は紙管や中性紙を用いた特殊技術を採用してスピーカー以外から漏れる音を熱処理カットしている。このため、音が同調・反復せず、透き通った音を再現できる。トーンコントロールをしなくても、コンポアンプでも高音から低音まで幅広い音域を創造を越えた音で忠実に再現する。



●フルレンジスピーカーを活かすエンクロージャー
円筒型の筐体（エンクロージャー：スピーカーユニットを収納する箱）の採用により、円筒内に

放射された音は急激に膨張することなく、筐体内を縦方向に平面波で進行する。このため振動板はフラットな状態で振動することができる。

全帯域にわたって筐体内の平面波を保つことを可能にした PWS 技法（Plane Wave Support Technology）を採用。筐体内の音波の乱反射を防いで清透な楽音を再生するとともに、低音再生領域をより低い方向に拡張できる。

円筒筐体は、壁面が曲面のため壁面板の振動が極めて少なく構造的に剛性が高いため、壁面材に薄い素材を使用できる。GARA Surround では、音響特性が異なる三層壁面構造を採用しており、筐体の壁面振動の減衰も速くなり、音質阻害要因を減少させることが可能。また、完全密閉で上部放射方式のため設置場所を選ばない。

●上向きスピーカー

筐体上部にミッドバスと高音スピーカーが同軸構造で上向きに付いている。音の波を上方向に強く放射し、また 360 度、水平方向に音を放射（無指向性）。これはピアノやドラムなど楽器の音の出方と同じ放射特性であり、感覚的に原音に近い自然な音として聴こえるため、ライブ会場にいるような錯覚を与える。

また、室内のどの位置でも均質な音で聴くことができる。ホールや広いロビーなどで聴くとよくわかるが、遠くまで音が減衰しないうえ、明瞭度が低下しない。また、大きな音量を出してスピーカーの近くにいても、決してうるさくない。

●「GARA Surround」17

高さ 120cm×直径 38cm、2 本セットで 63 万円

●「GARA Surround」10

高さ 84cm×27cm、2 本セットで 15 万 6 千円

*両タイプとも 1 本での販売も可。

*販売は主に同製品のホームページで受付。

株式会社カギオカ

〒636-0298 奈良県磯城郡田原本町阪手 658-1

TEL : 07443-3-2481 FAX : 07443-3-5169

URL : <http://www.kagioka.co.jp/>

●GARA Surround 公式ホームページ

URL : <http://www.k-gara.com/>